

学校教育目標	『だれもが、安心して、豊かに、生活・学習できる学校をつくります。』 1年生は榎町の希望、2年生は榎町の顔、3年生は榎町の心			
	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の基本的なモラルを身につけ、自立を目指すことのできる生徒を育てます。(知・徳・体) ・豊かなかかわり合いをもち、社会を創り出すことのできる生徒を育てます。(徳・公) ・多様な価値観を生かし、学び合うことのできる生徒を育てます。(知・公・徳・開) 			
学校概要	創立 46 周年	学校長 岡田 光則	副校長 小田切 敦	3 学期制 一般学級: 23 個別支援学級: 4
	児童生徒数: 842 人 主な関係校: 師岡小学校、大曾根小学校、綱島東小学校、綱島小学校			

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	榎町中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<言語能力> 他者と考えや思いを共有する力 <問題発見・解決能力> 自分の考えを明確にし、わかりやすく伝える力 <持続可能な社会の創造に貢献する力> 豊かな人間関係を形成する力	師岡小学校 大曾根小学校 綱島東小学校 綱島小学校	○共に学び合い、自他を大切に認め合う子ども ・バランスのとれたコミュニケーション能力の育成をめざした授業の推進と実践。 ・だれもがわかる、参加できる授業作りの推進。 ・児童生徒指導や特別支援教育の情報交換を実施。 ・ブロック教務主任会で、授業・行事・児童会生徒会活動、部活動の交流の設定。

中期取組目標	○「チーム榎町」として全教職員で活力と魅力のある学校作りをめざします。 ・わかりやすい授業を展開し、基礎学力の定着を目指す授業を行い、子どもが主体的に取り組む指導に展開します。 ・一人ひとりの生徒が成就感・自立(律)感を味わえる学校行事を工夫し、問題解決を進める中で、自己有用感を育てます。 ・挨拶を大切にし、ものごとの善悪を正しく判断する心を育てます。 ・地域社会との連携を活発化し、地域とのつながりを深め、地域の一員として貢献できる力を育てます。
--------	---

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	①校内授業研や小中一貫教育推進ブロック授業研において積極的に授業公開をし、「分かる授業」を実践し、その基礎の上に子どもが主体的に取り組む授業を目指す。②「個に応じた指導」を充実させ、生徒による授業評価を実施し、集計結果をもとにしながら授業改善を行う。
豊かな心	①人と人との関わりを大切に、違いを認めて自他を大切にできるよう豊かな体験活動(赤ちゃんふれあい体験・服のカプロジェクト等)を推進する。②地域行事やボランティア活動に積極的に参加し、地域の一員としての自覚を高める。
特別支援教育	①特別支援委員会の定期開催と内容の充実を図り、支援を要する生徒一人ひとりに対する教職員の共通理解を深めながら、個々の特性に応じた指導に取り組む。そのために、特別支援教室の活用を進める。②関係機関との連携を積極的に行い、研修を実施して個に応じた指導を推進する。
健やかな体	①新体力テストの結果を活用し、体力向上に向けて生徒一人ひとりの具体的目標を定め、実践する。 ②基本的な生活習慣の定着と健康・安全についての理解を深め、健康教育の充実を図る。 ③科学的な根拠に基づき運動部活動を充実し、運動を好きになり自ら進んで運動する生徒を育てる。
生徒指導	①年3回の教育相談の設定を中心に、相談活動を柱にした生徒理解に基づく生徒一人ひとりの内面にも寄り添った生徒指導に、教職員全体で組織的に取り組む。 ②生徒指導研修会を複数回実施し、一人ひとりの生徒について情報を共有し組織的な対応を行う。
保護者・地域との連携	①オープンスクールを年5回実施し、学校の実態を教職員と保護者・地域で共通理解し、連携して共に生徒の成長にかかわっていただけるような機会とする。また、小中一貫ブロックで共有する。 ②学校行事・地域行事を通して、学校・家庭・地域が共同して生徒にかかわるように推進する。
教育環境整備	①限られた学校における教育環境の整備を積極的に進め、生徒が安全で安心のおける学校環境で活動が進められるように努める。②ユニバーサルデザインについて研修を行い、人権意識に基づく教室をはじめとした環境整備を行う。
ESDの推進	①産業福祉について、1年次には実際にその職業に従事する講師から話しを聞き、2年次には数十から自ら選択した事業所や施設での仕事を実際に体験することにより、理解を深める。②3年次には、より幅広く自分の将来を切り開いていく学習をさまざまな場面を通して、横断的に行う。
いじめへの対応	①いじめ防止研修を積極的に行い、教職員の認識や感度をより高め、生徒指導部と連携して教育相談活動を推進する。②生活アンケートを年最低3回行い、生徒の気持ちの細やかな変化等に対応できる体制を構築する。③いじめ防止対策委員会を定期的に関き、事案一つ一つに対処する。
人材育成・組織運営(働き方改革)	①メンターチームをミドルリーダーを中心としながら自主的に運営し、経験の浅い職員の育成を図る。②外部指導者を活用し、研究・研修を通して教師力の向上を目指す。③教職員の風通しの良い職場環境作りと働き方改革を進め、組織力を高めて持続可能な部活動・行事を含めた生徒活動の検討を行い、適切な活動について考える。